

はじめに

わが国は今、平均寿命の大幅な伸びと出生率の低下により人口の高齢化が急速に進んでいます。本市における高齢者人口（65歳以上）の割合は、令和2年10月1日現在で24.1%に達し、全国平均（28.7%）よりは若干低いものの、高齢化は確実に進行しています。また、団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）には全国推計で30.0%となり、約3人に1人が高齢者となる高齢社会が到来します。

令和2年度に国は介護保険制度改革がめざす方向を「地域共生社会の実現と2040年への備え」とし、「介護予防・地域づくりの推進」「地域包括ケアシステムの推進」「介護現場の革新」を「改革の3つの柱」として設定しました。それを受けて令和3年3月に西宮での地域包括ケアシステムの更なる推進に向けた方向性を示すとともに、地域マネジメントを可能にする「地域包括ケア計画」として、「西宮市高齢者福祉計画・西宮市介護保険事業計画」を策定しました。

また、高齢社会の到来に伴う市民の医療に対するニーズや社会構造の変化に対応できる仕組みづくりが求められることから、平成28年3月に今後10年間を見据えた本市の医療分野の基本的な指針である「西宮市保健医療計画」を策定しました。

子育て支援においては、本市の子育て支援施策の現状と課題を整理し、今後の子育て支援施策の方向性や目標等を定めた「西宮市子ども・子育て支援プラン」を平成30年3月に策定し、取り組みを進めています。

さらに、健康づくりについては、平成25年3月に「新・にしのみや健康づくり21（第2次）西宮市健康増進計画」を策定し、子どもから高齢者まで生涯を通じて健康に生活できるよう、市民と行政、関係機関・団体がそれぞれの特性を生かしながら連携し、健康づくりの推進に取り組んできました。平成30年度には中間評価を実施し、計画の見直しを行いました。また、食育と食の安全安心を一体的に推進するため、平成25年3月に策定した「西宮市食育・食の安全安心推進計画」についても、平成29年度に中間見直しを行い、生涯にわたって切れ目のない食育と食の安全安心の取り組みを進めています。

一方、障害のある人を取り巻く環境は、国において平成26年1月に障害者権利条約を批准し、平成28年4月に障害者差別解消法が施行されました。本市では平成30年3月に「西宮市障害福祉推進計画」を改定し、国の動向や本市における施策の課題等を踏まえながら障害のある人の地域生活の充実にに向けた取り組みを進めています。令和2年3月には、「西宮市障害を理由とする差別の解消及び誰もが暮らしやすいまちづくりの推進に関する条例」を制定（令和2年7月施行）し、障害を理由とする差別を解消し、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進していきます。

また、地域福祉の推進のため平成22年3月に策定した「西宮市地域福祉計画」についても、計画期間の満了に伴い、平成28年3月に改定を行い、住民主体で行われている福祉活動への支援や各福祉施策との連携を図り、地域福祉を推進していくこととしています。

<人口・世帯数の推移> （注）人口・世帯数は10月1日現在の推計値

年齢別人口は9月末日現在の住民基本台帳人口（外国人を含む）

年		H28	H29	H30	R1	R2	
人 口 (人)	総 数	488,874	488,399	488,127	487,401	485,705	
	男	228,609	228,263	227,889	227,415	226,078	
	女	260,265	260,136	260,238	259,986	259,627	
世 帯 数		212,562	213,752	214,892	216,176	215,188	
就学前人口 0～5歳	人口 (人)	26,847	26,155	25,529	24,793	24,310	
	比率 (%)	5.5	5.4	5.2	5.1	5.0	
老 齢 人 口	65歳以上	人口 (人)	110,962	112,959	114,451	115,747	116,830
		比率 (%)	22.8	23.3	23.6	23.9	24.1
	70歳以上	人口 (人)	76,533	80,516	84,405	88,296	90,817
		比率 (%)	15.8	16.6	17.4	18.2	18.8
	75歳以上	人口 (人)	52,045	54,422	56,359	58,591	59,588
		比率 (%)	10.7	11.2	11.6	12.1	12.3